

フチの家



浜辺

そこは、海と陸が始まる場所
海と陸のそれぞれのフチが隣り合う
フチは、様々な場所や空間、時間の境界に存在する
そこは、外でもない内でもない 棲処をつくる
そこは、人 に日常と非日常を同時に体感させる
浜辺は埋め立てられ、都市に吸収され、失われつつある
都市と自然の境界に存在するフチは、曖昧な空間が広がる 新たな浜辺 となる



現在、西公園周辺は住宅地、ビジネス街、下水処理施設等が立ち並ぶ都市の側面と博多湾や四季折々の木々といった自然の側面の両方の顔を持つ

Context / FUCHI Program 場所を持つフチのはじまり



PHASE I

当時、西公園の北側には雄大な博多湾が存在し、浜辺があった
そこは、海と陸が始まるそれぞれのフチであった

PHASE II

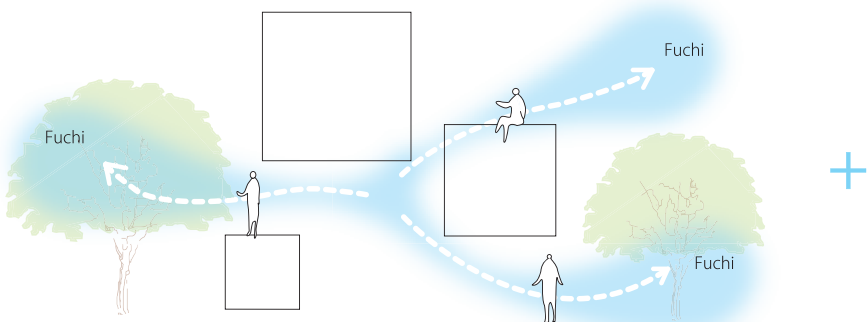
しかし近代化に伴い、浜辺は埋め立てられていった
同時に、都市と自然の両方を包み込むように、フチは広がっていった

PHASE III

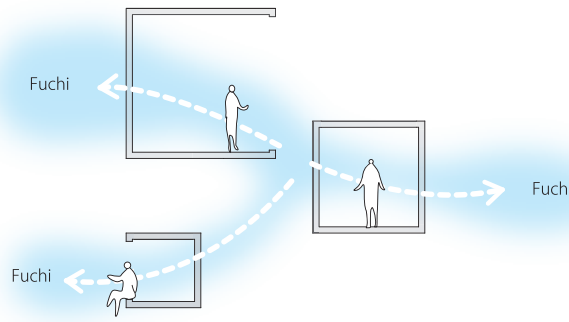
都市と自然の互いのよさを共有したフチは、都市に住む人々を救い、人々の暮らしを変える、「新たな浜辺」となる

Diagram キューブがつくり出す曖昧な空間

OUTside 外側から広がるフチ



INside 内側から広がるフチ



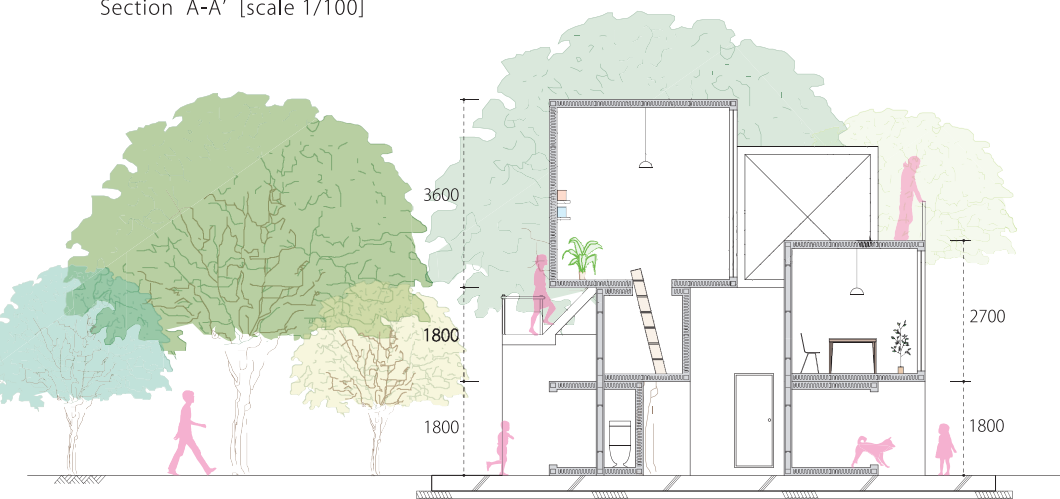
OUTside

ボリュームの異なるキューブを、敷地内に散りばめ、積み上げていく
キューブとキューブの間にできた隙間によって、外でもない、内でもない、それぞれのフチがうまれる
木々は家となり、家もまた木々となった「棲処」が、そこにはある

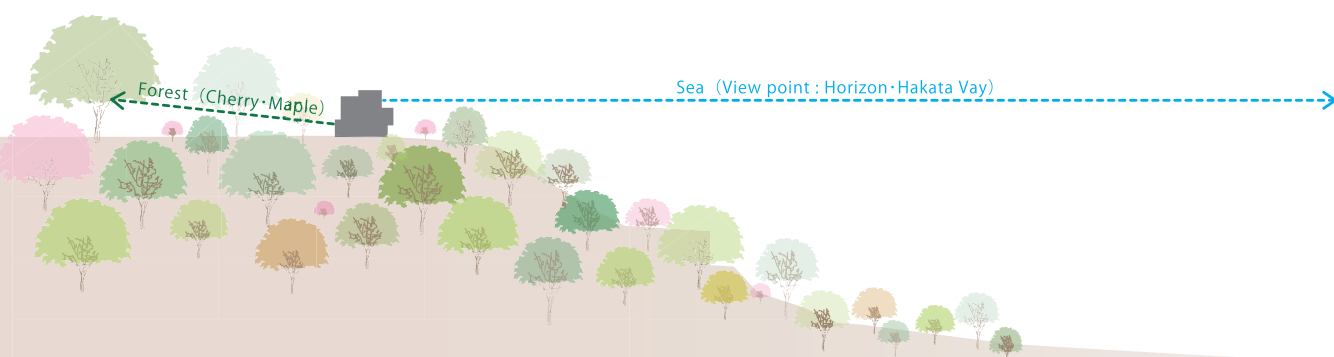
INside

それぞれの部屋では、壁や天井に窓を配し、さらに壁がない自由に行き来できる枠を組み合わせる
ランダムに窓や枠を配置したことによって、各部屋はあいまいで多様な使われ方を可能にさせていく
こうして遠望の海や水平線、日々変化する山の表情といった様々な風景が、部屋からは広がっている

Section A-A' [scale 1/100]



Nishikouen Section [scale 1/300]



Plan GL+4500 [scale 1/100]

